



2026年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年10月14日

上場会社名 株式会社ボードルア 上場取引所 東
 コード番号 4413 URL https://www.baudroie.jp/
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）富永重寛
 問合せ先責任者（役職名）代表取締役（氏名）藤井和也（TEL）03(6807)4525
 半期報告書提出予定日 2025年10月15日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年3月1日～2025年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		中間利益		親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	7,698	45.5	1,406	34.7	1,397	32.7	1,014	33.6	1,014	33.6	1,065	22.5
2025年2月期中間期	5,291	51.6	1,044	55.6	1,053	58.1	759	54.7	759	54.7	869	77.2

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	32.74	32.54
2025年2月期中間期	23.92	23.74

(注) 1 当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり中間利益及び希薄化後1株当たり中間利益を算定しております。

(注) 2 当社は、2025年2月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年2月期第2四半期及び2025年2月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（2）連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	11,809	6,270	6,270	6,270	53.1	
2025年2月期	8,602	4,571	4,571	4,571	53.1	

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—	0.00	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	7.58	7.58

(注) 1 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 当社は、2025年6月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
株式分割前基準での1株当たり年間配当金予想は、期末：15.16円、合計：15.16円となります。

3. 2026年2月期の連結業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する 当期利益	基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	17,100	46.8	3,250	32.1	2,345	30.3	75.79

(注) 1 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2 当社は、2025年6月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。
連結業績予想の「1株当たり当期利益」については、当該株式分割の影響を考慮しております。
なお、株式分割前基準での1株当たり当期利益は151.58円となります。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期中間期	32,091,908株	2025年2月期	32,068,708株
② 期末自己株式数	2026年2月期中間期	953,420株	2025年2月期	1,121,270株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年2月期中間期	30,993,382株	2025年2月期中間期	31,746,775株

(注) 当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約中間連結財政状態計算書	4
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	6
要約中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
要約中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 要約中間連結持分変動計算書	8
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり中間利益)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

前第4四半期連結会計期間において、企業結合による暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較・分析に当たっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

当中間連結会計期間(2025年3月1日～2025年8月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復傾向にあります。一方で、金融資本市場の変動や海外経済の減速懸念、資源価格の高止まり、人手不足の深刻化など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

そのような環境下においても、IT社会の進展は継続しており、企業の業務効率化や競争力強化を目的としたIT・DX投資は引き続き堅調に推移しております。特に、クラウド環境の整備、ネットワークの高速化・安定化、セキュリティ対策の強化といった分野への需要が拡大しています。

当社グループは、こうした成長分野に対応すべく、クラウド、ロードバランサー(負荷分散)、セキュリティ、ワイヤレス、ネットワーク仮想化といった先端技術領域への対応力を強化してまいりました。

当社グループは「ITインフラストラクチャに特化したプロフェッショナル集団」として、以下の重点施策を軸に事業を推進してまいりました。

エンタープライズ顧客への深耕と新規開拓：案件の獲得の向上を進めるとともに、既存大手顧客との関係強化により、安定的な収益の確保を実現しています。

先端技術分野の選別受注と育成型マッチングの強化：若手人材の早期育成を実現する社内研修と、技術ステップに応じたアサイン設計を行い、質の高いサービス提供を維持しました。

この結果、IFRS会計基準に準拠した当中間連結会計期間の業績は、売上収益は7,698,792千円(前年同期比45.5%増)、営業利益は1,406,949千円(前年同期比34.7%増)、税引前中間利益は1,397,733千円(前年同期比32.7%増)、中間利益は1,014,802千円(前年同期比33.6%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は1,014,802千円(前年同期比33.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

(資産)

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して3,206,690千円増加し11,809,537千円となりました。その主な要因は、株式会社SPIN TECHNOLOGY、株式会社悟空テクノロジー及び株式会社ONE-TECHの買収に伴い、のれんが1,905,434千円、営業債権及びその他の債権が606,235千円増加したこと等によるものです。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して1,508,422千円増加し5,539,426千円となりました。その主な要因は、社債及び借入金(非流動)が659,444千円、その他の流動負債が732,770千円増加したこと等によるものです。

(資本)

当中間連結会計期間末の資本は、前連結会計年度末と比較して1,698,268千円増加し6,270,110千円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する中間利益の計上により利益剰余金が1,014,802千円増加、株式会社SPIN TECHNOLOGY、株式会社悟空テクノロジー及び株式会社ONE-TECHとの株式交換に伴い資本剰余金が233,724千円増加、及び自己株式が646,185千円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は1,070,260千円(前年同期は751,118千円の収入)となりました。これは主に税引前四半期利益の計上1,397,733千円、従業員給付に係る負債の増減が178,869千円があった一方、法人所得税の支払額416,355千円等があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は728,409千円(前年同期は350,434千円の収入)となりました。これは主に子会社の取得による支出が709,568千円、敷金及び保証金の差入による支出が32,485千円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は96,142千円(前年同期は212,093千円の支出)となりました。これは主に長期借入れによる収入が800,000千円あった一方、自己株式の取得による支出259,168千円、長期借入金の返済による支出250,203千円、リース負債の返済による支出163,928千円等があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきまして、2025年5月21日に公表いたしました2026年2月期(2025年3月1日～2026年2月28日)の通期業績予想の修正における内容から変更はありません。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,486,412	3,924,406
営業債権及びその他の債権	1,578,552	2,184,788
その他の金融資産	90,217	67,307
その他の流動資産	228,858	396,407
流動資産合計	5,384,041	6,572,910
非流動資産		
有形固定資産	266,871	265,884
使用権資産	358,639	282,652
のれん	2,032,282	3,937,717
無形資産	106,327	106,255
その他の金融資産	280,250	402,590
繰延税金資産	102,363	207,425
その他の非流動資産	72,070	34,102
非流動資産合計	3,218,805	5,236,627
資産合計	8,602,846	11,809,537

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	68,113	76,248
社債及び借入金	441,742	666,659
リース負債	273,302	230,053
未払法人所得税	464,261	430,242
その他の流動負債	1,578,351	2,311,121
流動負債合計	2,825,770	3,714,324
非流動負債		
社債及び借入金	885,744	1,545,188
リース負債	191,462	147,413
引当金	103,242	108,264
繰延税金負債	24,783	24,235
非流動負債合計	1,205,233	1,825,101
負債合計	4,031,003	5,539,426
資本		
資本金	603,697	604,182
資本剰余金	989,198	1,223,408
利益剰余金	5,535,238	6,550,040
自己株式	△2,690,575	△2,303,557
その他の資本の構成要素	134,283	196,035
親会社の所有者に帰属する持分合計	4,571,842	6,270,110
資本合計	4,571,842	6,270,110
負債及び資本合計	8,602,846	11,809,537

(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

要約中間連結損益計算書

中間連結会計期間

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上収益	5,291,928	7,698,792
売上原価	3,380,668	5,055,168
売上総利益	1,911,259	2,643,623
販売費及び一般管理費	867,269	1,218,247
その他の収益	339	6,954
その他の費用	65	25,380
営業利益	1,044,264	1,406,949
金融収益	15,642	3,725
金融費用	6,656	12,942
税引前中間利益	1,053,250	1,397,733
法人所得税費用	293,766	382,931
中間利益	759,484	1,014,802
中間利益の帰属		
親会社の所有者	759,484	1,014,802
中間利益	759,484	1,014,802
1株当たり中間利益		
基本的1株当たり中間利益(円)	23.92	32.74
希薄化後1株当たり中間利益(円)	23.74	32.54

要約中間連結包括利益計算書

中間連結会計期間

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間利益	759,484	1,014,802
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	110,405	50,813
その他の包括利益合計	110,405	50,813
中間包括利益	869,889	1,065,615
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	869,889	1,065,615
中間包括利益	869,889	1,065,615

(3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	新株予約権	その他の資本の構成要素 その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定する 金融資産 の公正 価値の純 変動	合計	資本 合計
期首残高		601,421	556,842	3,735,873	△700,355	9,543	48,080	57,623	4,251,405
中間利益		—	—	759,484	—	—	—	—	759,484
その他の包括利益		—	—	—	—	—	110,405	110,405	110,405
中間包括利益		—	—	759,484	—	—	110,405	110,405	869,889
新株の発行		—	334,554	—	—	—	—	—	334,554
新株予約権の行使		689	689	—	—	—	—	—	1,378
自己株式の処分		—	95,525	—	700,338	—	—	—	795,864
株式報酬取引		—	—	—	—	3,817	—	3,817	3,817
新株予約権の発行		—	—	—	—	2,137	—	2,137	2,137
新株予約権の失効		—	—	—	—	△25	—	△25	△25
所有者との取引額等合計		689	430,769	—	700,338	5,929	—	5,929	1,137,726
中間期末残高		602,110	987,611	4,495,357	△16	15,472	158,485	173,958	6,259,021

当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する持分								
	注記	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	新株予約権	その他の資本の構成要素 その他の 包括利益 を通じて 公正価値 で測定す る金融資 産の公正 価値の純 変動	合計	資本 合計
期首残高		603,697	989,198	5,535,238	△2,690,575	19,149	115,134	134,283	4,571,842
中間利益		—	—	1,014,802	—	—	—	—	1,014,802
その他の包括利益		—	—	—	—	—	50,813	50,813	50,813
中間包括利益		—	—	1,014,802	—	—	50,813	50,813	1,065,615
新株の発行		—	—	—	—	—	—	—	—
新株予約権の行使		485	485	—	—	—	—	—	971
自己株式の取得		—	—	—	△259,168	—	—	—	△259,168
自己株式の処分		—	233,724	—	646,185	—	—	—	879,910
株式報酬取引		—	—	—	—	3,817	—	3,817	3,817
新株予約権の発行		—	—	—	—	7,480	—	7,480	7,480
新株予約権の失効		—	—	—	—	△358	—	△358	△358
所有者との取引額等合計		485	234,210	—	387,017	10,938	—	10,938	632,653
中間期末残高		604,182	1,223,408	6,550,040	△2,303,557	30,088	165,947	196,035	6,270,110

(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間利益	1,053,250	1,397,733
減価償却費及び償却費	110,054	132,028
株式報酬費用	3,817	3,817
従業員給付に係る負債の増減額	92,548	178,869
金融収益及び金融費用	△8,912	8,878
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△115,951	△175,385
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△11,395	△49,152
その他の増減額	△71,711	△804
小計	1,051,700	1,495,985
利息の受取額	375	3,235
利息の支払額	△6,322	△12,604
法人所得税の支払額	△294,634	△416,355
営業活動によるキャッシュ・フロー	751,118	1,070,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,780	△666
定期預金の払戻による収入	—	20,001
定期預金の預入による支出	—	△20,609
投資有価証券の売却による収入	—	3,157
敷金及び保証金の差入による支出	△1,263	△32,485
敷金及び保証金の回収による収入	237	405
保険積立金の解約による収入	57,192	—
子会社の取得による収入	346,355	—
子会社の取得による支出	△95,992	△709,568
匿名組合からの分配による収入	44,217	—
その他	1,467	11,355
投資活動によるキャッシュ・フロー	350,434	△728,409
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△17,000	△5,010
長期借入れによる収入	100,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△163,822	△250,203
社債の償還による支出	△27,000	△34,000
新株予約権の発行による収入	2,137	7,480
ストック・オプションの行使による収入	1,378	971
リース負債の返済による支出	△107,787	△163,928
自己株式の取得による支出	—	△259,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	△212,093	96,142
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	889,459	437,993
現金及び現金同等物の期首残高	4,250,479	3,486,412
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,139,939	3,924,406

(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、ITインフラストラクチャ事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり中間利益)

(1) 基本的1株当たり中間利益

基本的1株当たり中間(四半期)利益及びその算定上の基礎は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
親会社の普通株主に帰属する中間利益		
親会社の所有者に帰属する中間利益	759,484	1,014,802
親会社の普通株主に帰属しない金額	—	—
基本的1株当たり中間利益の計算に使用する 中間利益	759,484	1,014,802
発行済普通株式の期中平均株式数	31,746,775株	30,993,382株
基本的1株当たり中間利益	23.92円	32.74円

(2) 希薄化後1株当たり中間利益

希薄化後1株当たり中間(四半期)利益及びその算定上の基礎は、以下のとおりです。

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
希薄化後の普通株主に帰属する中間利益		
基本的1株当たり中間利益の計算に使用する 中間利益	759,484	1,014,802
中間利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり中間利益の計算に 使用する中間利益	759,484	1,014,802
発行済普通株式の期中平均株式数	31,746,775株	30,993,382株
希薄化性潜在的普通株式の影響：新株予約権	250,241株	192,982株
希薄化効果の調整後	31,997,016株	31,186,364株
希薄化後1株当たり中間利益	23.74円	32.54円

(注) 当社は、2025年6月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、基本的1株当たり中間利益及び希薄化後1株当たり中間利益を算定しております。